

2010 年秋期 生物劣化研究会開催報告

「木材保存剤の国内外での動向」

日本木材学会生物劣化研究会 幹事
(地独)北海道立総合研究機構 林産試験場 森 満範

生物劣化研究会では、毎年、木材学会大会時とその半年後の2回（春期および秋期）、木材の生物劣化（微生物や昆虫類による劣化）を防止するための研究・技術開発を話題とした講演会や見学会を行っています。

今年の秋期研究会は、平成22年12月2日（木）、野依記念学术交流館（名古屋大学 東山キャンパス内）において開催しました（写真1-2）。今回の研究会では、「木材保存剤の国内外での動向」をテーマとした講演会を企画し、国内外における木材保存剤の事情や、木材保存剤の性能に詳しい3名の方を講師としてお招きしました。木材保存剤メーカー、木材防腐工業、住宅等の関連業界や、大学・公設試等の研究機関から56名の参加を得ました。



写真1 野依記念学术交流館



写真2 会場の様子

国産材を中心に木材を積極的に利用していこうという機運にあり、木材保存処理の需要や用途も今後増えていくと考えられます。木材保存剤については、排水基準の強化によりCCAの使用が激減して以来、環境や人に対する負荷が小さい多種多様な木材保存剤が製品化されてきました。それに伴い、JIS、JAS、AQなどの規格に登載される木材保存剤も加除されながら変遷を続けています。このような状況を踏まえ、木材保存剤に関する情報を整理して現状を把握することにより、参加者の今後の研究・技術開発、企業活動に活かすことができればと考え、今回の講演会を企画しました。

最初の講演は、矢原顕氏（アーチ・ケミカルズ・ジャパン株式会社、写真3）による「海外での木材保存処理の動向と展望」でした。海外の木材保存事情に明るい矢原氏から、北米、オセアニア、ヨーロッパ、アジアにおける木材保存処理の現状についての概説がありました。普段、目の当たりにすることができない海外の事情を写真や裏



写真3 矢原顕氏による講演

話とともに紹介していただきました。気候、汎用樹種の違いに加え、流通形態や保存処理材に対する意識、ニーズも各地域により異なり、それが使用薬剤や需要・供給量の違いに表れていると感じました。



写真 4 馬場庸介氏による講演

続いて、馬場庸介氏（住化エンビロサイエンス(株)、写真 4）から「表面処理用木材保存剤の動向と展望」について講演いただきました。表面処理用木材保存剤は、木材防腐・防蟻剤、木材防虫剤、木材防カビ剤に区分されます。（社）日本しろあり対策協会や（社）日本木材保存協会の認定を取得しているこれらの木材保存剤について、有効成分や製剤形態ごとに薬剤の開発動向や今後の展望について解説いただきました。

最後の講演は、榎章郎氏（近畿大学 特任教授、写真 5）による「最近の木材保存剤の性能と動向」でした。シロアリを防除するための「防蟻剤」を中心に、過去から現在に至るまでの薬剤の変遷や、土壌穿孔試験、殺蟻効力伝播性試験、強制接触殺蟻効力試験、野外試験などによる各薬剤の効力について、エピソードを交えながら解説いただきました。



写真 5 榎章郎氏による講演



写真 6 コーディネーターの桃原郁夫氏

コーディネーターの桃原郁夫氏（(独) 森林総合研究所、写真 6）の進行のもと、各講演の最後には参加者とのディスカッションが行われ、滞りなく会を終了しました。

今回の講演会では、国内外における木材保存剤の開発動向や性能に着眼しましたが、今後、処理木材の品質管理を実施する上で重要となるのは、未整備な部分が多い「木材保存剤の分析方法」だと考えます。また、木材保存剤の効力を評価するための試験方法や、保存処理方法・施工方法（住宅工法も含む）なども検討しなければならない課

題です。木材保存剤を開発する上で、ひいては信頼性の高い木材保存処理を実施する上で、これらの周辺技術を確立していく体制づくりも必要なのかもしれません。

最後になりましたが、講師・コーディネーターを務めていただいた皆様、ならびにご参加いただいた皆様にお礼を申し上げます。また、今回の研究会を開催するにあたり、（社）日本木材保存協会、（社）日本木材加工技術協会にご協力を賜りました。この場をお借りして、感謝の意を表します。

2010年秋期 生物劣化研究会(講演会) 「木材保存剤の国内外での動向」

日時:平成22年12月2日(木) 13:00~16:15

場所:「野依記念学術交流館」(名古屋大学 東山キャンパス内)

- ・13:00~14:00 「海外での木材保存処理の動向と展望」
矢原 顕 氏(アーチ・ケミカルズ・ジャパン株式会社)
- ・14:00~15:00 「表面処理用木材保存剤の動向と展望」
馬場 庸介 氏(住化エンビロサイエンス(株))
- ・15:00~15:15 休憩
- ・15:15~16:15 「最近の木材保存剤の性能と動向」
榎 章郎 氏(近畿大学 農学部)
- ・コーディネーター 桃原 郁夫 氏((独)森林総合研究所)

生物劣化研究会幹事 森 満範((地独)北海道立総合研究機構 林産試験場)
赤堀裕一(大日本木材防腐株式会社)

主催:日本木材学会生物劣化研究会
協賛:(社)日本木材保存協会
後援:(社)日本木材加工技術協会

